

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月14日

上場会社名 株式会社 ネットインデックス  
 コード番号 6634 URL <http://www.netindex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 鷗野 正康  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 土屋 昌司  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 JQ

TEL 03-5250-7200

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,827	—	△21	—	71	—	34	—
20年3月期第1四半期	2,198	77.0	38	58.7	11	△44.4	0	△92.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	3,869.41	3,703.27
20年3月期第1四半期	54.13	53.81

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	4,458	1,412	31.7	158,459.34
20年3月期	5,147	1,397	27.1	156,689.93

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,412百万円 20年3月期 1,397百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	2,100.00	2,100.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,928	14.6	47	△25.1	145	—	85	—	9,631.25
通期	12,039	22.9	233	280.7	403	—	238	—	26,695.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
 新規 1社(社名 株式会社エフプラス) 除外 1社(社名 )  
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 8,916株 20年3月期 8,916株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1株 20年3月期 1株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 8,916株 20年3月期第1四半期 8,050株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 上記に記載した当期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想に内在する様々な不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における日本経済は、米国経済の減速や原油をはじめとする資源価格の高騰、為替変動などの不安要素が重なり、企業の設備投資の抑制や収益の低下が見られるとともに、個人消費においても、期待されたオリンピック特需が盛り上がりには欠けたことから、全体としては減速傾向が強まりました。

当社グループが属する情報通信関連市場におきましては、各通信事業者において携帯電話端末の多様な販売方法が導入され、お客様獲得に向けた競争や差別化が一段と激しさを増しております。また、固定通信と移動通信の融合、あるいは通信と放送の連携が進展しつつある中で、グローバルな通信規格の普及が進むことにより、海外メーカーの国内進出、国内メーカーの事業撤退など、事業環境が急速かつ大きく変化しており、サービスや製品供給における競争も新たな局面を迎えております。

当社グループは、モバイル&ワイヤレス事業の主要製品を中心に拡販に努めましたが、通信事業者間の価格競争の激化、加入者数の伸びの鈍化等、市場環境の著しい変化を主因として、売上高は前年同期比16.9%減の1,827,016千円にとどまりました。

営業損益は、子会社である㈱テック・インデックスの業績改善に著しい進捗が見られたものの未だ黒字化に至らず、連結ベースで21,907千円の営業損失となりました。

経常利益は、前連結会計年度末に計上した長期為替予約評価損並びに通貨オプション評価損の洗替処理等により、為替差益及び評価益86,859千円を計上したことが寄与し、71,314千円となりました。

四半期純利益は、特別損失としてたな卸資産評価損17,522千円を計上した結果、34,499千円となりました。

また、当第1四半期連結会計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①モバイル&ワイヤレス事業

当第1四半期連結会計期間においては、前連結会計年度より販売しているHSDPA対応データ通信カード及びPHSデータ通信カードを継続的に販売いたしました。一方、PHS通信モジュール並びに音声端末の販売数量が減少したことにより、売上高は1,431,131千円となりました。

#### ②デジタルホームネットワーク事業

当第1四半期連結会計期間においては、既存顧客からのネットワーク製品等のリピートオーダーにより、売上高は6,767千円となりました。

#### ③システム&サービス事業

前連結会計年度にシステム&サービス事業の領域拡大を目的として子会社化しました株式会社テック・インデックスの売上が寄与したことにより、売上高は389,118千円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比較して688,184千円減少しております。このうち主なものは、現金及び預金の増加241,501千円、受取手形及び売掛金の減少581,062千円、たな卸資産の増加165,760千円、関係会社短期貸付金の減少590,000千円及び開発用ソフトウェアの取得等による無形固定資産の増加55,538千円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計期間末と比較して703,960千円減少しております。このうち主なものは、支払手形及び買掛金の減少872,831千円、金融機関からの短期借入金の増加250,000千円及び為替予約の評価損相当額の洗替処理による減少98,576千円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は、四半期純利益34,499千円及び配当金支払18,723千円により、利益剰余金が15,776千円増加した結果、1,412,823千円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成20年3月期の決算発表時と変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間から当社の連結子会社である(株)テック・インデックスが平成20年4月23日に新設分割により設立した(株)エフプラスを連結の範囲に含めております。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### ② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用し、評価基準については移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、税金等調整前四半期純利益は、17,522千円減少しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,064,068	822,566
受取手形及び売掛金	1,292,976	1,874,038
商品	149	149
製品	18,112	30,051
原材料	136,191	150,225
仕掛品	849,748	658,014
その他	212,320	783,072
貸倒引当金	△4,600	△5,500
流動資産合計	3,568,966	4,312,619
固定資産		
有形固定資産	311,232	317,840
無形固定資産		
のれん	140,199	148,076
その他	236,578	181,039
無形固定資産合計	376,777	329,116
投資その他の資産	201,941	187,526
固定資産合計	889,952	834,483
資産合計	4,458,918	5,147,102
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,010,615	1,883,446
短期借入金	1,250,000	1,000,000
未払法人税等	20,803	6,312
賞与引当金	57,304	37,689
その他	355,528	447,278
流動負債合計	2,694,251	3,374,727
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	252,000	252,000
退職給付引当金	13,503	13,351
役員退職慰労引当金	60,593	57,863
その他	25,746	52,112
固定負債合計	351,843	375,328
負債合計	3,046,095	3,750,055
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	599,675	599,675
資本剰余金	459,865	459,865
利益剰余金	353,283	337,506
株主資本合計	1,412,823	1,397,047
純資産合計	1,412,823	1,397,047
負債純資産合計	4,458,918	5,147,102

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	1,827,016
売上原価	1,453,660
売上総利益	373,356
販売費及び一般管理費	395,264
営業損失	21,907
営業外収益	
受取利息	2,689
為替差益	25,016
長期為替予約評価益	33,576
通貨オプション評価益	28,266
その他	7,882
営業外収益合計	97,431
営業外費用	
支払利息	3,909
その他	300
営業外費用合計	4,209
経常利益	71,314
特別損失	
たな卸資産評価損	17,522
特別損失合計	17,522
税金等調整前四半期純利益	53,791
法人税、住民税及び事業税	17,541
法人税等調整額	1,750
法人税等合計	19,292
四半期純利益	34,499

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	53,791
減価償却費	12,660
のれん償却額	7,876
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19,614
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	151
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,730
受取利息及び受取配当金	△2,689
支払利息	3,909
為替差損益 (△は益)	△23,683
長期為替予約評価益	△33,576
通貨オプション評価益	△28,266
売上債権の増減額 (△は増加)	581,062
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△165,669
仕入債務の増減額 (△は減少)	△872,831
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△45,361
その他	△22,238
小計	△513,420
利息及び配当金の受取額	2,711
利息の支払額	△4,120
法人税等の支払額	△19,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	△534,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,562
有形固定資産の売却による収入	48
無形固定資産の取得による支出	△21,683
貸付金の回収による収入	590,000
その他	△15,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	551,527
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△12,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	237,600
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,050
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	241,501
現金及び現金同等物の期首残高	822,566
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,064,068

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	モバイル& ワイヤレス 事業 (千円)	デジタル ホーム ネット ワーク事業 (千円)	システム& サービス 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,088,645	54,004	34,659	21,007	2,198,318
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,088,645	54,004	34,659	21,007	2,198,318

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	モバイル& ワイヤレス 事業 (千円)	デジタル ホーム ネット ワーク事業 (千円)	システム& サービス 事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,431,131	6,767	389,118	—	1,827,016	—	1,827,016
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	255	—	255	(255)	—
計	1,431,131	6,767	389,374	—	1,827,272	(255)	1,827,016
営業利益又は営業損失(△)	138,676	△4,239	△21,061	—	113,375	(135,283)	△21,907

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
モバイル&ワイヤレス事業	モバイルデータ通信カード、W-SIM、携帯電話端末
デジタルホームネットワーク事業	PLCモデム(電力線モデム)、回線切替装置
システム&サービス事業	携帯電話事業者向システム開発及び保守サービス、データセンター事業
その他事業	製造受託、製品の修理及びメンテナンス

なお、当第1四半期連結会計期間に㈱テック・インデックスが新設分割により㈱エフプラスを設立しましたが、上記事業区分及び主要製品には変更はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約)前四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(千円)
I 売上高	2,198,318
II 売上原価	1,876,432
売上総利益	321,885
III 販売費及び一般管理費	283,796
営業利益	38,089
IV 営業外収益	2,412
1 受取利息	2,224
2 その他	188
V 営業外費用	29,355
1 支払利息	2,681
2 新株発行費	2,235
3 公開準備費用	23,939
4 その他	498
経常利益	11,146
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前 四半期純利益	11,146
税金費用	10,711
四半期純利益	435